

ZOOM ズームアップ

食事を通じて子育てを応援する
ボランティア団体

こども食堂 富士見台



とし5月25日に開店した「こども食堂富士見台」は、地域に住む人が中心となって立ち上げました。毎週水曜日の17時から、富士見台まちづくりセンターで開店しています。食堂はバイキング形式で、メニューは旬の食材を使い、野菜や魚、肉をバランスよく食べられるようになっていきます。代表の**大庭あゆみ**さん(三ツ沢)は、「野菜が苦手な子どもも多いので、食べてもらえるように小さく切ったり、味つけを変えたりと工夫しています。また、おかずの種類もたくさんあるので、飽きずに食べられると思います。たくさんおかわりをして、『おいしかったです』と言われると、とてもうれしいです」と話します。

「この食堂を、子どもたちや親子に気軽に利用してほしいと思っていきます。ただ食事を提供するだけでなく、子どもや保護者とのコミュニケーションを大切にしています。最近では、子どもから学校であったことなどを話してくれることもあります。ここに来ていた子どもたちが、将来、人と人とのつながりの大切さを思い出してくれるといいですね」と話してくれました。



おかずを取り分ける子どもたち

市長への手紙から

市は「市長への手紙」を設け、市政についてご意見やご提言をいただいています



※専用はがきは、市役所などの公共施設で配布しています。

今回は、「市民活動センターで行われた『熊本地震から学ぶ災害対策』が大変わかりやすく、多くの気づきがあったため、市内各地区まちづくりセンターを巡回する形で、報告会を開いてほしい」というご意見に対する回答を紹介します。

「いき講座」の防災講座でも、現地へ派遣した職員が講師となり、同様の内容をお話することで、啓発につながっていきたく考えています。



地区防災会議の様子

市長からの回答
熊本地震の被災地へ派遣した職員が、現地の状況を説明することは、市民の皆様さんの防災意識の向上のために役立つことだと考えます。
今後、各地区で開催される地区防災会議で、「熊本地震から何を学ぶか」と題して防災講座を行うほか、市民の皆様さんから希望があれば、「市政いき

※市政いきいき講座：市の業務内容や専門知識を講座として紹介していきます。詳しくは、市ウェブサイト(くらしと市政↓教育・文化・スポーツ↓社会教育)をごらんください。
問い合わせ/防災危機管理課
☎(55)2715 (FAX)512040

HAPPY PHOTO'S

我が家のアイドル



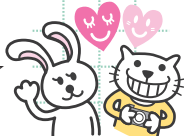
ひなの
秋山 陽菜乃ちゃん (伝法)
H27.10.6生
「いつまでも笑顔たくさんの、ひなちゃんできてね」



ゆうちゃん (中之郷)
塩坂 優ちゃん
H27.7.23生
「ニコニコ優くん。元気でやんちゃに育ってね♡」



ゆきは
石垣 幸葉ちゃん (瓜島町)
H27.6.21生
「お誕生日おめでとう★☆
★大きくなったね!」



★我が家のアイドル大募集!!
あなたの子どもの写真(顔全体が写っている横写真)とコメントを大募集!!詳しくは広報広聴課まで。
☎(55)2700 (FAX)511456
kouhou@div.city.fuji.shizuoka.jp